

おもしろ電池実験

提案年度：令和3年度

(自然科学・数学 - 科学教室)

登録者No. 58

ねらい：備長炭とアルミホイル、食塩水、身近にある野菜や果物に2種類の金属を組み合わせても電池になります。いろいろ組み合わせたり、強い電池にするにはどうすれば良いかを考えます。

内容：2種類の金属と電気を通す水溶液（電解液）があれば、電池として働きます。銅板と亜鉛板を半分に切ったグレープフルーツに話して差込、検流計につなぐと針が振れて電機が流れたことがわかります。いろいろな電池を作って、その原理を考えます。

対象：小学生、親子

会場：実験ができるような設備のある部屋で出来れば理科室のような部屋

小・中学校での開催：可

必要機材：検流計、リード線、ソーラーモーター、LEDなど

曜日：平日・休日

費用負担：材料により異なる（内訳：）

時間帯：午前・午後

時間/回数：1時間 / 1回

定員：実施形式により異なる

謝礼：交通費・弁当代・原材料費等実費程度

備考：化学専攻、元都立高校教諭、杉並区立科学館指導員、日本化学会フェロー、立川市小学校科学センター講師、立川市自然と科学の会会員